

勿凝学問 282

国債 11 兆円の増発で医療費 700 億円増だと思っていたら、実質±ゼロ改定らしい

2010 年 1 月 17 日

慶應義塾大学 商学部

教授 権丈善一

当初予算で見れば、2009 年度よりも 2010 年度では、国債が 11 兆円多い 44 兆円である。こうした国債の増発で、診療報酬は 0.19% 引上げ、医療費ベースでは 700 億円増だと思っていたら、なんだか違うらしい。そういう話をはじめてみたのは、『週刊社会保障』1 月 11 日号の「記者の耳」(70 頁)であった。

次期診療報酬改訂は、薬価改定率で捻出した財源を上回って本体を引上げ、+0.19% となった。しかし、「後発品のある先発品の追加引き下げ」によって捻出した約 600 億円は薬価改定等の財源から外された。これを含めると、プラス部分は 100 億円弱。「10 年ぶりのネットプラス」も実質は±ゼロ改定(高)。

「実質±ゼロ改定」ってホントウなんだろうかと思っていたら、今日、日本福祉大学の二木立先生から連絡がきて、改定財源を巡る今回の財務省と厚労省の折衝の中で「後発品のある先発品の追加引下げ(△2.2%)」によって捻出される 600 億円が診療報酬改定の財源から外されて、他の予算に使うこととなったという事実があるらしく、700 億円のプラス改定の裏で、600 億円が改定財源から外されたのは確からしい。

医師の 6 割以上が投票した民主党が、医療界に感謝して、国債 11 兆円の増発で 700 億円の医療費増、つまり、国債増発分の 0.6% も医療費の増加に回してくれたのかと思っていたら、実質は±ゼロとのこと。国債 11 兆円増で医療費 700 億円増だから、次の診療報酬改定が行われる 2012 年度は国債を GDP の 2 倍を超える 1,100 兆円くらい増発すれば医療費も 7 兆円増えて、ドイツの公的医療費にかなり近づくぞっ！フランス並みにしようとすれば GDP の約 3 倍の 1,500 兆円くらい国債を増発しなければならないけど、医師たちが支持するこの政権はひよっとすると医療のためにやってくれるんじゃないのか！？と期待していたのに、捕らぬタヌキの皮算用ってなわけだな。。

ちなみに、診療報酬 0.19% 増を報じた 2009 年 12 月 24 日の『朝日新聞』は、一面トップに 20 ポイントくらいの太字で「診療報酬 10 年ぶり増」と掲げ、3 面の解説記事に次の説明があった。

10年ぶりのプラス改定となる。救急や産科医療の医師不足など医療崩壊を食い止め、医療を立て直すというマニフェストの内容を反映したものだ。

.....

一方、報酬アップで、保険料や患者の窓口負担は増える。厚労省の試算では、保険料の本人負担は、中小企業のサラリーマン（年収374万円）の場合、年額285円程度の負担増。窓口負担は、平均的な外来受診で3割負担の場合、月額7.8円増える。

保険料年額285円の増加（月額23.75円）、患者負担月額7.8円の増加で、「医療崩壊を食い止め、医療を立て直すというマニフェストの内容を反映」ねえ。この記事を見たとき、そんなに簡単に医療って立て直すことができるのか！？と驚いてしまったんだけどね（笑）。今日の話では、保険料と患者負担の増加額はそれぞれ、月額で3円と1円ということになるのかな。さすが生活者にやさしい政権だよ。

まあ、あんまり肩入れすると、御社の信頼を落とすことになると思うんだけど、余計なお世話なんだろうねえ——いろいろな面で時既に遅しの感もあるけどさ。